

1 便潜血検査とは何でしょうか。

便潜血検査とは、大便に少量でも血液が混入しているかどうかを調べる検査で、消化管からの出血を検出するためにいきます。

大便は、消化器で食物を消化吸収した残りかすからできているので、肉・魚など食物中の血液成分を含む可能性があります。そこで、便潜血検査では「ヒトの血液」だけに反応する物質（抗ヒトヘモグロビン抗体など）を用い、便に混入する自分の血液を鋭敏に検出するようにしています。したがって、便潜血検査では、消化管内での出血の有無を、出血が少量でも、簡単に知ることができます。

実際の検査は、被検者に採便容器に採っていただく検体で行います。容器のフタに採取用の棒が付いており、便表面をこすって採取し、保存液が入った採便容器に差し込み密封して提出すると、それをもとに検査します。

検査のはなし vol.11

専門医が教える

検査値異常を指摘された際に考えること ⑱

「便潜血が陽性と 言われました」



日本臨床検査専門医会
小笠原 理恵

2 便潜血検査陽性の病気には 何がありますか。

消化管での出血、さらに消化管出血を起こしやすい疾患（例えば消化管の潰瘍・ポリープ・がん・炎症、痔、血液疾患など）があげられます。

とくに、大腸がんやその前駆病変（一部の
大腸ポリープなど）からよく出血するため、
便潜血検査は大腸がん検診として使われてい
ます。ただ、出血は間欠的なので、検出率を
上げるために1日1回、2日連続で検査し、1回
でも陽性であれば陽性として報告されます。

3 検診で便潜血検査陽性と言われたら どうすればよいですか。

消化管出血は自覚のない場合も多く、出血自体放置しておく
と貧血・低栄養状態など他の疾患の原因にも
なります。出血の原因疾患を診断し、病変部位を特定
して、治療し止血することが重要です。そのためには、
消化器内科を受診し、確定診断のため内視鏡検査
などを受けてください。これにより診断および治療が
一度にできる場合もあります。

大腸がん検診での場合も同様で、便潜血検査陽性
であれば、自覚症状はなくとも検査を受けることが重要
です。少数ですが、実際ががんがあった場合でも早期
発見・治療ができ、また前駆病変ならばこの段階で検
出し切除してがんへの進行を防ぐことができます。大
腸がんでは、「無症状で経過し、この間便潜血検査を
行えば発見できる」という期間が7年間あると言われて
います。検査陽性をきっかけに、気づいて行動する
ことで、検査結果を今後の健康維持に役立ててくださ
い。

